

決起の集い、全道に和をひろげる

婦人会創立110周年（令和2年）に向かって一丸と！

「婦人会決起の集い」は、北海道13会場の中、5月1日にスタートを切つて既に統北・教務支庁・室蘭・日高での4会場が開催されました。

どの会場も選りすぐりの講師のお話と、2名の婦人会員の感謝話、ビデオの内容に、感動と涙と笑いの中、お道の素晴らしい話をそれぞれに再確認させて頂き、喜び勇んだ集いになりました。これからも、6月から7月にかけて各地で活発に集いが持たれる予定であります（下記の表を参照）

どうか創立110周年の来年に向けての大きなうねりとなりますよう、これから開催の会場にも、お誘い合わせて、こぞって参加されますよう、お声掛けをよろしくお願いいたします。

◎今後の開催予定を下に掲載しています。
※開会時刻はいずれも13時
(7・14教務支庁だけ2回目)
18時より

――以上終了――

実施会場	5月1日	統北分教会会場
講師	久保初美先生	（婦人会員219名）
5月3日	教務支庁会場	
講師	松村松枝先生	（婦人会員365名）

講師	入江ゆき先生	（婦人会員163名）
5月29日	胆振分教会会場	
講師	宮内有子先生	（婦人会員158名）

16歳以上の女性

《対象》婦人会員



第559号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社



一斉ひのきしんデー 身も心も晴天に包まれて

今年の全教一斉ひのきしんデーは、全道的に幾分寒さも遠のき、概ね晴天のお日和のお恵みを頂いてつとめられ、どの会場も多くの参加者が「健康を感じ謝る」ひのきしんを味わわさせて頂くことが出来た。

近年、公園管理の関係から天理教の人海戦術を求めてこない自治体もあり、また天候に左右されない屋内での作業ができる福祉施設も、平常時からの関わりの上でないとのひのきしんを実施できない所が多くなった。

その中、函館支部の五稜郭公園、小樽市の小樽公園、滝川市常盤公園などの市街中心部の大規模公園では、人手の足りない所を補うことが出来ると、自治体からも求められる活動となつてている。

どの会場も高齢化が進んで、次の一手を模索中という意見の多いひのきしんデーでした。



**基礎講座北海道会場
200回目達成!**



の受講者で大いに賑わっています。しかし、全体的には受講者数が伸び悩み、平成28年5月の地方会場(網走支部)での来場者数8,000名受講突破以降、足りないため)ことも度々あります。

そこで開催回数を絞つたり、講師係員研修、SNS等を利用して受講への呼びかけ等で数名の受講ながらも回を重ね、今回200回目を迎えることができましたのは、これまでに本講座を受講下された方が居たお陰であり、教會の方やお誘い下されたようほくの方のご尽力の賜物です。今後もおちばがえりへ向けての丹精の一助として、本講座をご利用いただき、来場者数1万人と

天理教基礎講座北海道会場事務局(藤野充普事務局長)は5月19日、教務支庁を会場に基礎講座を開催、17名の受講がありました。

天理教基礎講座北海道会場事務局(藤野充普事務局長)は5月19日、教務支庁を会場に基礎講座を開催、17名の受講がありました。

本講座は、平成16年5月に地方会場として全国に先駆けて北海道会場が開講して、今回で200回目の開講となりました。

開講当初は受講者が100名を超えることも珍しくなく、月に2回の開催にも受講者の盛況をみましたが、年数経過と回を重ねるごとに受講者の減少傾向も見られます。北海道会場の当初の目的でもあつた、各支部への出講講座も本部の了承を得ることができ、支部会場では100名前後

●札幌北西支部(荒木志朗支部長)では、4月28日、札幌分教会を会場に少年会員を含む82名が参集して支部総会が開かれました。内容は、支部役職員による祭儀式、座りづとめ。少年会員によるよろづよ八首。各地区ごと

支部総会報告

今後開催予定		
★6月30日	旭川会場	函館会場
7月7日	教務支庁会場	

に三交代で十二下りてをどりが勤められた。

その後総会式では、荒木新支部長の挨拶、会務報告、各紹介がなされ、また少年会員のお楽しみ行事なども同時進行で行われた。その後の直会に親睦を深め支部活動の進展を誓い散会した。



300回の開催を目指して参りたいと思います。なお、講座終了後、講師高橋政嗣先生より受講者へ記念の品が手渡されました。(写真)

教理随想 三十

させて頂く心

木岡 昭

○さんは学業を終えられるとすぐ学校の教師となられた。そして停年まで一筋に教員生活をして停年後も積極的に教育関係の諸活動に参与されその功績は著しい人であった。

その○さんが九十才を過ぎているのに、要請を受けて毎月数ヶ所の幼稚園に自ら出向いて絵本語りを園児にしているということを聞き私は驚嘆した。しかもその中には、電車やバスに乗つたりして、かなりの時間を費やして行く園もあるという。勿論その一切の費用は自分持ちで頂いていない。

「素晴らしい事ですね。御年令からすると、本来はゆつくりとされたいでしよう幼稚園教育…老若男女どなたも参加できるひのきしんです。1日でも、短時間でも歓迎します…」

のために努力される姿に敬服致します。子供たちも喜んでいます。」

と、私が申し上げると、

「いやいや私の方こそ十分にお返しを頂いております。園に行つて輝く子供達の姿を見させて頂いて、私は本当に心明るくなっています。園に行く事によつております。勇んで通らせて頂こうと一層思えるようになりました。今は私がつとめる事によって助けられています。」

と、返事を頂いた。

さすがお道の信仰者だと私は感心させて頂いたものであつた。この○さんの態度は、心の内に貫して「させて頂く」信念が確く宿つているのである。

ボランティア活動の中でも、へたをすると「してやつている」となると心の内で何らかの見返りが芽生えてくるかも知れない。させて頂く心は、一切の見返りの求めはなくそれだけで満

大通り会場ひのきしん者大募集!

第28回「YOSAKOIソーラン祭り」

6月8日(土)・9日(日)

※教務支庁から毎時の分に車で送迎致しまる。直接大通公園受付アントに来られても結構です。

足感を与えてくれるものである。お道の信仰者は、その人生の一挙手一投足に至るまでさせて頂くよう教えられている。これは私達の生命や身体は神様から貸し与えられて生かして頂いていることの自覚からである。自分の力を過信することなく、常に感謝の心で通らせて頂く心が必要であろう。

お道の信仰者は、その人生の一挙手一投足に至るまでさせて頂く心で通らせて頂くよう教えている。これは私達の生命や身体は神様から貸し与えられて生かして頂いていることの自覚からである。自分の力を過信することなく、常に感謝の心で通らせて頂く心が必要であろう。

●札幌白豊支部(山田幸雄支部長)では、5月4日に支部総会を開催し支部管内の用木信者少

年会員など総勢45名が参加しました。

午前10時より祭儀式を開始、引き続き座りづとめ、よろづよ八首、十二下りを九交代でつとめさせました。おつとめ後は総会式、直会と続き盛況ながらも和やかな総会となりました。参加者は53名でした。



昼食の親睦会ではゲームや抽選会を行い親睦を深めました。



記念講演には札幌分教会の木岡昭先生をお招きし、おたすけに勇み立つお話を聞かせていました。



●紋別支部(渡邊國源支部長)では、5月9日、紋養分教会を会場に支部総会を行いました。午前10時より祭儀式を開始、引き続き座りづとめ、よろづよ八首、十二下りを九交代でつとめさせました。おつとめ後は総会式、直会と続き盛況ながらも和やかな総会となりました。参加者は53名でした。

